



鶴翔

同窓会だより

荘内中学校 鶴岡中学校
 鶴岡第一高等学校 鶴岡高等学校
 鶴岡南高等学校

第 55 号

発行 鶴翔同窓会
 〒997-0037 山形県鶴岡市若葉町26-31
 山形県立鶴岡南高等学校内
 電話(0235)22-0061

印刷 鶴岡印刷株式会社

2014年

平成26年11月1日発行



新「加茂水族館(クラゲドリーム館)」好調です!



ハナガワクラゲ

オキクラゲ

ミスクラゲ

アミガワクラゲ

ラビーター

6月1日、新しい建物でリニューアルオープンした加茂水族館は、言わずと知れたクラゲの水族館として有名ですが、世界最大級5メートル大水槽、ギネスで認定された50種類以上のクラゲ、そして、3万匹を超えるクラゲの飼育数と、3つの世界一で来館者を魅了しています。

入館者は、8月上旬、僅か2カ月余りで過去の年

間入館者数の記録を超え、多くの方で賑わっています。また、周辺には約500台の駐車場があります。

関係者によると夕方が空いていてお勧めとか。一度、ご覧になってはいかがでしょうか。

【参考】入館料 大人1,000円、小中生500円

団体割引等は加茂水族館(0235-33-3036)にお問合せを

会長就任あいさつ



第七代会長
齋藤 正志
(昭44卒・76回)

新会長のご指名を頂いた齋藤と申します。前年百二十五周年記念事業を成し遂げられ、12年間にわたり同窓会をお導き頂いた石黒前会長の下で、副会長として仕えさせて頂いておりました。石黒前会長の長年のご苦勞に感謝申し上げ、築いて頂いた路線を踏襲し、今後の同窓会の発展に尽力して参ります。

7月1日の百二十六周年記念式典並びに同窓会総会には、入院中で出席できず申し訳ございませんでした。今後は体調維持に努め、皆様のご協力をいただきながら活動して参りたいと思っております。

母校の校風「質実剛健」の伝統の下、最近の生徒諸君の学習面並びに部活動での活躍はうれしい限りです。同窓会も応援できる様に、力をつけなければなりません。

近年、同窓会の維持会費の集まりが課題になっておりますが、活動資金の安定化のために今年度より維持会費の増額をお願い致す所存です。

さらに「同窓会だより」のあり方も、広告を頂くなど検討して参ります。

また、当面は事業目的の寄付を募る予定はありませんが、創立百三十周年

に向けての準備と学校支援活動のために、任意の寄付をお願いして参りたいと思います。

母校並びに同窓会の益々の発展と、同窓生の皆様のご健勝とご活躍をお祈りして就任の挨拶とさせて頂きます。

退任にあたって



第六代会長
石黒 慶一 (67回)

去る7月1日の同窓会総会で、会長の退任をお認め頂きました。12年間の永きにわたり、笹原会長の後を引き継ぎ第6代会長として微力ながら創立百二十周年並びに百二十五周年事業（鶴翔会館の冷暖房設備の設置）の職責を務めることが出来ましたことは、偏に同窓会会員の皆様を始め役員・理事、事務局、そして歴代の校長先生を初めとする母校の教職員の皆様のお力添えの賜と心より御礼申し上げます。

在任中、東京鶴翔会を始めとする全国の各支部の同窓生の皆様と親しくお付き合いさせて頂いたことは私の大きな財産となりました。同窓生の母校を思う熱い気持ちがこれまで12年間会長を務めることができた大きな源でもありました。

ただ残念なことは若い同窓生の中に

は同窓会活動に興味を示されない方もおられ、健全な財政運営の基本である

七月一日の記念講演

「武道について私が語ること」

拓殖大学柔道部監督、佐藤伸一郎氏(91回)をお迎えして、創立126周年記念講演が鶴翔会館ホールにおいて行われました。

中学、高校とまさに柔道少年として過ごされ、大学では全日本体重別部門で優勝、シニアクラスでも同部門で3位、スイスの国際大会で優勝等々、内外の大会で優秀な成績を残されました。

その後、指導者の道へ進まれ、拓大柔道部の監督（現在に至る）を勤めながら、内外の指導者の育成に力を発揮、海外ではシリア、ヨルダン、インドネシア、ネパール等で、また国内では、石川、岩手、熊本、鹿児島、その他講道館指導員も勤められています。

五輪大会や国際大会には、JOC専任情報戦略スタッフとして随行、相手



選手の技量や特徴等の情報収集に活躍（まさにスポーツ界も情報戦）。

用の三脚や一脚の持ち込みが禁止されたが、カメラの取り付けネジと同じネジを使う折り畳み傘を代用したことなどのエピソードもお聞きしました。

クーベルタン男爵が提唱した近代オリンピックの精神、「健全な身体に健全な精神が宿る」が、サマランチ前会長が推し進めた「商業化」によつてスポーツとしての柔道は「JUDO」となり、いかに勝利するかが大事なことで、優勝するためのだけに努力を重ねている。

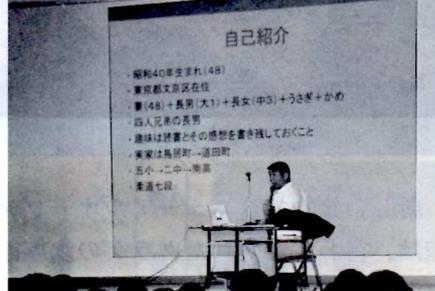
武道としての柔道は、護身、健康に留意し「心・技・体」を高めるため、研鑽を積むことである。

座右の銘は "Heaven helps those who help them selves." 最後は面白いことを言われました。「ゴマすりは実力の無い者の大なる武器、本当の実力が無いと思つたらゴマすりぐらいしなさい(笑)」と。実力の無い時は、無用の敵を作つて苦勞することは無いという意味のようです。

一つの事を長く続けてこそ得られた真髓ではないかと思いました。

お忙しい中、日帰りの強行スケジュールでの講演、誠にありがとうございます。

(文責・地主忠夫)



自己紹介
昭和40年生まれ(48)
東京都文京区在住
妻(48)・長男(大1)・長女(中3)・うさぎ十かめ
四人兄弟の長男
趣味は読書とその感想を書き残しておくこと
実家は鳥取県→道田町
五小・二中→鶴翔
柔道七段

「維持会費」の納入率が最近低迷していることは唯一の気がかりな点でもありません。

齋藤新会長には新たな発想で、同窓会の更なる飛躍に期待する次第です。



鶴岡南高校校長

柴田 曜子

今年度も日頃様々な面でご支援いただいている同窓生の皆様に、本校生徒の勢いのある活躍を報告できます事を嬉しく思い、また感謝申し上げます。鶴翔会館にエアコンを設置していただいたおかげで、式典や集会、講演会やPTA等、暑い時期にも快適に開催することができました。

音楽部や吹奏楽研究会は、東北大会にむけて本番さながらの練習ができました。本当にありがとうございます。

今年三月の全日制卒業生の国公立合格者は一二八名と昨年よりは若干少ないようですが、東北大に二桁の合格者を出す等、よく健闘したと思います。

現在本校生は部活動を始め、あらゆる分野で活躍し、非常に勢いのある状態です。SSHの指定を受け、生徒も職員も様々なことに挑戦していま

す。生徒一人一人が自分の持つ力を最大限発揮し、高みを目指していけるように、職員一同努めて参りますので、同窓生の皆様には今後ともご支援よろしくお願いいたします。

各地の鶴翔同窓会

仙台鶴翔同窓会

東日本大震災から3年を経過した被災地においては、復興も進み、落ち着きを取り戻している気配はあるものの、今度は気候不順による悪影響に悩まされている現状でもある。

さて、当仙台鶴翔同窓会第36回定期総会が、去る8月30日



(土)スマイルホテルの「シエルプール」で、同窓会田中芳昭副会長、鶴南高柴田曜子校長のご臨席を得て開催しました。25名の出席ですが、若年層が多く、終始和やかに行われたことは何よりの喜びでした。

総会に先立ち、「鳳嶺月峰」と校歌を斉唱。続いて来賓の挨拶、田中副会長からは、鶴翔会館のエアコン整備特別寄金協力の御礼と更なる要請や新役員体制の発表、そして活動の意気込みなどお話を拝聴しました。柴田校長からは、部活動における生徒達の全国レベルでの活躍状況の説明と共に、先生方の教育に対する熱意と成果向上の説明をいただきましたが、凛とした姿勢と迫力ある語調に校長としての意欲と威厳を感じさせられ頼もしい限りでした。また卒業生の同窓会に関心を持たせる方法論の示唆までいただき感謝しております。

総会は阿部純二会長の議事進行のもと平成25年度活動報告、会計決算報告、監査報告、続いて平成26年度活動計画案、会計予算案など、いずれも承認され新年度発足となりました。また、今年度は役員改選時に当たり、新任・再任の原案

通り可決され新役員体制も成り立ちました。恒例ミニ講演は、佐藤信氏(67回)が「最近の話題から」と題して、国政における外交や防衛問題の幅広い分野を短時間で解り易く解説、大変有意義なミニ講演でした。

第2部としての懇親会は、太田弘氏(89回)が司会進行を務め、若さ溢れる名舵取りによつて時間を忘れるほど盛り上がり、互いに深交を結び合い、楽しいひと時を満喫して終了しました。新年会での再会を申し合わせ、家路につき

新潟支部

8月23日、鶴翔同窓会新潟支部総会は、母校から柴田曜子校長、同窓会から森俊直事務局長のご臨席をいただき開催されました。

支部長挨拶の後、柴田校長の母校生徒の活躍状況、森事務局長から同窓会運営についてお聞きしました。いつものことながら参加者の少ないのは悩みの種、特に若い人達が参加してくれないのは寂しい限りです。この事についての対応とまでは言えなくても、



新たな試みとして行われたことを記します。

実は昨年の総会の席で、柴田校長の「新潟大学は鶴岡南高校の卒業生が最も多く進学する大学であります。後輩学生達を宜しく」と挨拶の中で話されたことを受け、同窓会有志による、今年度新潟大学に入学された17名に対して、鶴翔同窓会新潟支部として「新入学生歓迎会」を案内し、5名の参加者と同窓会支部有志による和やかな会が行われたことを、有志代表大滝一氏(82回)が同窓会の存在と、近い将来、同窓会参加者増加につなげるためにも継続して行きたい旨述べられました。

いろいろ報告の後には、今朝届いた「白山だっちゃん」で故郷を思い出し、年に一度し

か合わない人でも直ぐに判りあえる楽しい会となりました。そして次回の再会を約束し、別れを惜しみながら校歌斉唱で散会となりました。

寒河江久紀(65回)記

東京鶴翔同窓会

快晴の初夏6月14日、恒例となった大手町サンケイプラザにて第44回総会を開催。

柴田曜子校長、石黒慶一鶴翔同窓会長他のご来賓を始め、270名余りの参加者が集う。

実行副委員長も務めた保多由子さんによる「アメイジン ググレイス」の独唱にてスタート。その凛とした空気がその後の会場をも包み込む。

今回は昭和44年卒の76回生を中心に行行委員会を構成。「会って戻ろうあの頃へ、とここで知ってる?母校・故郷の今」が今年のテーマ。新装なった加茂水族館のクラゲの映像をバックに、サクラマスやだだちゃ豆、孟宗汁等の地元食材に地元銘酒を傾けては



旧友と今昔の話題に花を咲かせ、かたやステージでは、高校生映画コンクール受賞の元「映画研究会」メンバーが登場し受賞作の一シーンを上映したり、「つや姫」お米券等を懸けた「ご当地クイズ」で盛り上げ

りを見せ、最後に「庄内歌う会」主導による「花は咲く」と校歌斉唱、そして85回生大泉氏による迫力あるエール交換にて目出度くお開きとなる。

その間場内では鶴岡仕入れの「おからクッキー」のチャリティー販売を実施。用意した100個を完売、そのご好意は後日菅会長により鶴岡市社会福祉協議会に寄付させて頂く。直ぐ近くでの二次会にも約半数の方が参加、我が同窓会には高齢化問題は無い、とばかりに盛り上がり、大賑わいの一日が終わる。

実行委員長小林紀雄(76回)記

北海道支部鳴鶴会

7月26日、ホテル札幌ガー

デンパレスに於いて、鶴翔同窓会北海道支部鳴鶴会の年次総会と懇親会が開かれました。当日は本部より田中副会長にご臨席いただき、また北大新入生1名を会員に加えて計19名の参加となりました。

田中副会長の、故郷や母校の現状をお話いただいた中で、部活動の県大会、東北大会での輝かしい成績の数々には、一同我が子の活躍のよう



に心を躍らせて聞き入りました。

また、学業でも国公立大進学率が全国でもトップクラスとの事、文武両道を実践する後輩達を誇りに思います。

鶴南は昨年初めての女性の校長先生が誕生し、きつと良

い伝統はそのままに、新しい息吹を以て更なる母校の発展に貢献していただいていると確信しております。

本部の方も石黒前会長に代わり新たに齋藤会長が就任されたとのこと。石黒前会長には今まで札幌にも、遠いところ何度もお出席いただき、本当にありがとうございます。これからも在校生と同窓会のためにお力添えをいただければ幸いです。

〈追伸〉水泳の西脇選手がインターハイで2冠達成の報を後にニュースで知りました。本当におめでとうございます。今後もお活躍をお祈り致します。大森由美(91回)記

山形鶴翔同窓会

9月10日(木)山形グランドホテルにおいて、滝川義朗同窓会副会長、坂尾聡教頭、小野寺健鶴工城畔同窓会山形副支部長をお招きし総会、懇親会を開催しました。

当番実行委員は、昭和45年卒(77回)、46年卒(78回)の方々です。初の試みとして若者の参加拡大を図るため、母校卒の大学生に呼びかけたところ山形大学生3名の参加もあり、

総勢80名と盛会なものとなりました。特に、平成卒の会員が17名も参加されたことは、同窓会組織の強化発展の観点から大変心強い限りです。



佐竹規成先輩(58回)の乾杯で始まった懇親会では、互いに旧交を温めあい、あつという間に予定された時間が経過したことは言うまでもありません。この模様は山形鶴翔同窓会のHPに動画付きで載せておりますので是非ご覧下さい。会長池田惇(71回)記

関西鶴翔同窓会

関西鶴翔同窓会第27回総会は、去る5月18日(日)に、歴史と文化の薫り高い古都奈良



の猿沢池のほとり「飛鳥荘」で開催されました。今回は、3年に一度恒例の如松会（北高OB会）との合同で行われました。

当日は、爽やかな五月晴れの中、ご来賓に柴田曜子校長、俵谷育同窓会副会長、そして如松会からは、高橋克彦北高校長、佐藤繁子関西支部会長をお迎えし、総勢48名が参加されました。

総会では、本間隆会長のご挨拶と共に、成田事務局長より活動報告などがありました。その後役員改選が行われ、新事務局長として戸屋実氏が復帰されました。

興福寺の五重塔をバックに集合写真を撮った後の懇親会は、佐藤俊之（鶴翔会）・井上誠子（如松会）両司会のもと、盛大に進められました。柴田校長から、母校の進学状況やSSH（スーパーサイエンススクール）、部活動などの近況報告があり、北高の高橋校長からは、進学型単位制高校に大きく変わった点や来年度から男子の入学を募集することなどのお話がありました。

どのテーブルも懐かしい青春時代に花を咲かせながら、和気藹々と談笑していました。特別講演は、新進気鋭の庄司観氏による「ゴキブリの生態」とロボットに関する研究でしたが、とても興味深く面白い話でした。

最後は、北高の校歌斉唱に続き、恒例の応援団長小野寺尚氏による南高の校歌斉唱で無事閉会となり、三々五々周辺散策に行きました。

菅原真澄（81回）記

羽黒支部

平成26年度羽黒支部総会が、羽黒山午年御縁年で賑わう門前町、手向の桜小路にある宿



坊「大進坊」において、6月19日に開催されました。

来賓に俵谷育鶴翔同窓会副会長、柴田曜子鶴岡南高校校長をお迎えし、早坂眞一羽黒支部長以下会員19名が参加しての総会となりました。

俵谷副会長のご祝辞では、役員改選があり副会長での出席は羽黒支部が最後となる。仕事で出羽三山神社にお世話になってきたので、これも神様のお導きとのお話がありました。

柴田校長の母校の近況報告では、国公立への進学率の高さや鶴工との定期戦での勝利部活動での生徒の活躍などを紹介いただきました。

また今回は2年間実施した同窓生による講話に代え、平

均年齢を大きく下げていただいた（株）アイデアの北風加奈さんに、今春から運営している「月山高原ふれあいハウス」のPRと地域の観光振興についてお話いただきました。

懇親会では、今話題の出羽三山の精進料理とお酒を堪能し、年代を超えて語り合い大いに盛り上がりました。

これまで参加されなかった皆さんも是非一度覗いてみてください。楽しい宴です。

佐藤潤到（85回）記

通友会総会

通信制課程の同窓会通友会総会を7月27日（日）、三川町田田の宿「なな味」で開催されました。今回は鶴岡と三川が当番でした。

学校から柴田校長、通信の庄司教頭、恩師3名の出席をいただき、会員34名で開会。

齋藤紘（平14卒）の進行で会長挨拶と物故者への黙祷の後、庄司教頭から通信制の現況報告を頂きました。

議事に入り、平成25年度経過報告、決算報告、26年度の行事、予算案などが全会一致で承認されました。

記念講演は、永年教育界に

従事されました阿部良忠先生（元鶴岡市教育長）より「人生亦初めあり」と題して、レジュメ6枚も使って恩師の教えや、先生の体験も交えて「我づくりの大切さ、人間改造を図り互助、敬う、感謝の心の大切さ」を話され、心に深く染みましました。

懇親会に先立ち、奥山豊子さんが琵琶演奏を熱演されました。校長先生のご挨拶の後、伊與田正さんの乾杯で懇親会に入り、互いに話も弾み交友温め歓談し、最後に校歌を元気に歌い、来年度羽黒地区での再会を誓いながら散会しました。

（中條芳男記）



「鶴翔塾」

生涯学習をめざして

塾頭 篠崎 実 (昭53卒・85回)

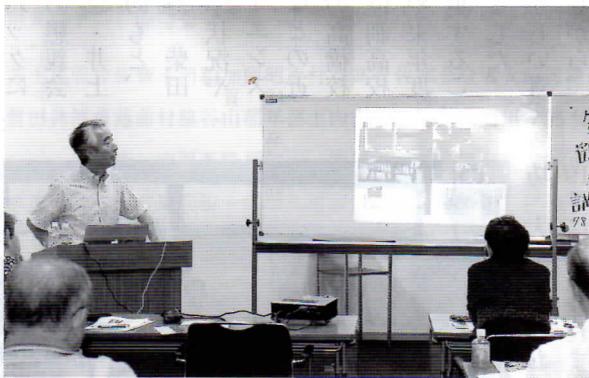


第一回鶴翔塾講演会が今は建て替えられてしまった荘内館で開催されたのは、一九九七年三月七日のことでした。

○回)を講師にお招きして「能とシェイクスピア」英語能から現代口語能へ」と題して、先生が手がけられている英語能に関するお話をうかがいました。それから一七年あまり、八五回卒の仲間がとどつて、講演会開催と、その報告、告知を兼ねた会誌『南翔』の発行をつづけてきています。当初年二度開催していた講演会は、二〇〇三年の第一三回より年一度となり、会場も荘内館の建て替えによってやまがた育英会駒込学生会館と変わりましたが、建て替えが行なわれた二〇〇七年と東京鶴翔同窓会幹事の当番年となった二〇一三年にお休みさせていただいたのをぞいで、毎年講演会開催をつづけ、本年七月の会をもつて二二回を数えるにいたりました。

本年は、去る七月一九日に、まちづくり鶴岡社長小林好雄先輩(七八回)を講師にお迎えし、「鶴岡まちなかキネマによる新しい賑わいづくり」という演題で講演会を開催し、今年のまちキネの活動についてお話をうかがいました。

ジャンルにとらわれない幅広い話題で、広く鶴南OB(場合によっては庄内、山形関係者)を講師として講演会を開き、そのあと孟宗汁や芋煮など季節の庄内料理を囲んで親睦をはかる、というのが、鶴翔塾講演会です。毎回同期の鯉川社長佐藤一良君からお酒の差し入れもあり、三〇名から四〇名ほどの参加者が、講演内容に関する質問や感想にかぎらず、



それぞれの近況や昨今の関心事についても自由に話し、土曜の午後を楽しくすごしています。現在は五月中旬、または下旬の開催を定例としています。会が始まるきっかけとなったのは、一九九六年の忘年会における大泉正君による提案でした。いあわせたすべてのものが賛同し、後日彼が東京鶴翔同窓会の幹事会にお邪魔し、当時事務局長だった、いまは亡き中村信雄先輩(五一回)に、同窓会から名をとった「鶴翔塾」という名前の使用をお許しいただくとともに、宗片先生をご紹介いただいた、第一回講演会開催にいたったのです。

この第一回講演会開催は、われわれの年齢が三六から三七に変わる年のことでした。その年であったのはたしかに偶然かもしれませんが、その頃であったのは必然だったと思います。「その頃」というのは、

高校卒業以降の年月が、高校卒業までに過ぎしてきた年月を上回った時期にあたります。大学卒業後、たぶんみんな、それぞれの志した道で、それこそ脇目もふらずに必死にがんばった時期がしばらくあったと思います。そうした時期には同窓の仲間たちと会いたいという気持ちはさして強くなかった

ことと思います。それが、同じ学校で時をすごした仲間たちが、今なにをしてくるのか気になる時期にさしかかったのがちようどその頃ではなかったかと思えます。職場での責任が次第に重くなり、またバブル経済崩壊のおりから、なんらかの選択をせまられるなど、人生のターニング・ポイントを迎え、かつての仲間たちととどつて、先輩たちや仲間たちがどのようなことをしてきたのか耳を傾けてみたい、そんな時期ではなかったのかと思います。



こうしてはじまった鶴翔塾は、その後多くの先輩方、そしてときには同級生、後輩も含めた方がたを講師に迎えて、講演会を開いてきました(僭越ながら、私自身もお話させていただきました)。思い出はつきません。最初の頃、会誌『南翔』は仲間のひとりの職場にあるコピー機をこっそり拝借して印刷していました。荘内館で開いていた頃は、翌朝まで呑み話していました。同期の映画監督富樫森君は、この会をはじめから監督デビューをはたし、その長編作公開にあわせて座談会を開きました。この夏、他界された哲学者の木田元先生をお招きしたときは、先生が鶴岡に疎開されていたときの下宿先のお嬢様との対面という出来事がありました。講師と演題のリストを掲載しましたが、文理双方にまたがる学問の世界、硬軟とり混ぜた実業界、さらには芸術の世界と幅広い領域におよぶその陣容を見ると、漢籍に

親しみ精神修養を旨とした庄内藩以来の伝統と豊かな自然がはぐくんだ、庄内の文化的な豊穡さに誇らしい気持ちになります。まもなく開塾から二〇年となりますが、これからも皆様に興味をもってもらいたくけるような活動をつづけていきたいと思っています。

講師・演題一覧 (敬称略)

第一回 一九九七年三月七日開催

宗片 邦義 (六〇回、英文学者)

「能とシェイクスピア―英語能から現代口語能へ」

第二回 一九九七年九月六日開催

寒河江孝允 (七〇回、弁護士)

「身近な知的所有権」

第三回 一九九八年三月二日開催

難波 誠 (六八回、数学者)

「楽しい数学、苦しい数学」

第四回 一九九八年九月二六日開催

後藤 広喜 (七〇回、元『少年ジャンプ』編集長)

「ビジネスとしてのマンガ」

「『少年ジャンプ』が目指したもの」

第五回 一九九九年三月二七日開催

篠崎 実 (八五回、英文学者)

「オックスフォードで考えたこと」

「英文学の楽しみ」

第六回 一九九九年九月一日開催

丸山 雅一 (六七回、故人、医学研究者)

「がん医療の現在―消化器癌を中心に」

第七回 二〇〇〇年四月一四日開催

窪田 騰 (五八回、教育者)

「私の算数教育」

第八回 二〇〇〇年一〇月一四日開催

村田 敏 (七七回、弁護士)

「外国人問題の現在と未来」

第九回 二〇〇一年四月二二日開催

加藤 光保 (八五回、医学研究者)

「がんとはどういう病気か?」

第一〇回 二〇〇一年一〇月一三日開催

木田 元 (故人、哲学者)

「現象学と私」

第一一回 二〇〇二年五月一日開催

渡辺 成昭 (六八回、宇宙科学者)

「天上の音楽と宇宙天気予報」

第一二回 二〇〇二年一月二三日開催

富樫 森 (八五回、映画監督)

「映画って楽しい」

「『ごめん』上映と富樫森監督を囲む午後」

第一三回 二〇〇三年五月一七日開催

斎藤 洋一 (八六回、故人、陶芸家)

「陶芸の楽しさ面白さ」

第一四回 二〇〇四年六月五日開催

井上 史雄 (六八回、国語学者)

「庄内方言二〇〇年の動き」

第一五回 二〇〇五年五月七日開催

中村 信雄 (五一回、故人、実業家、地質調査業)

「鶴翔塾の諸兄に話してみたいこと」

第一六回 二〇〇六年五月二七日開催

加藤 紘一 (国会議員)

「新しき日本のかたち―鶴翔塾のみなさんと語る」

第一七回 二〇〇八年五月一七日開催

清水 恵 (書家)

「新しい書のかたち―キャレ・モジ」

第一八回 二〇〇九年五月二三日開催

渡邊 春信 (八三回、写真家)

「いい写真ってなんだろう?―渡邊春信の写真塾」

第一九回 二〇一〇年五月二二日開催

佐藤 一良

(八五回、鯉川酒造、イグゼあまるめ社長)

「日本の食文化を酒から語る」

「今、子供たちの味覚が危ない」

第二〇回 二〇一一年五月二八日開催

松浦 孝一 (七五回、元鶴岡南高等学校校長)

「三八年間の山形県公立高校の教員生活を終えて」

第二一回 二〇一二年五月二六日開催

中村ゆかり (ヴァイオリニスト)

「終わりのない旅―私のヴァイオリン人生」

第二二回 二〇一四年七月一九日開催

小林 好雄 (七八回、まちづくり鶴岡社長)

「鶴岡まちなかキネマによる新しい賑わいづくり」

「鶴翔会館エアコン整備事業」の報告と

「鶴翔同窓会鶴翔会館エアコン使用規程」の施行

鶴翔同窓会鶴翔会館エアコン使用規程

- 第1条 本規程は、鶴翔会館に設置したエアコンを第三者(鶴翔同窓会及び鶴岡南高等学校以外の者)が使用しようとするときについて、必要な事項を定めるものとする。
- 第2条 鶴翔会館エアコンを使用しようとする第三者は、事前に鶴翔会館使用に係る鶴岡南高等学校校長による山形県教育財産使用許可を受けなければならない。
- 第3条 鶴翔会館エアコンを使用しようとする第三者は、前条の許可後、別紙様式1により鶴翔同窓会会長の許可を受けなければならない。
- 第4条 鶴翔同窓会会長は、許可に際し、鶴翔会館エアコンの管理上必要があるときは、別紙様式2のとおりその使用について条件を付することができる。
- 第5条 第4条の規定により許可を受けた第三者は、事前に別表に定める使用料金を支払わなければならない。
- 第6条 使用した第三者が、鶴翔会館エアコンを汚損若しくは損傷したときは、その損害を賠償しなければならない。
- 第7条 鶴翔会館エアコンの使用に関する上記以外の必要事項については、鶴翔同窓会会長が別途これを定める。
- 第8条 本使用規程は、平成26年6月4日から施行する。

鶴翔会館エアコン使用料金

〈鶴翔同窓会鶴翔会館エアコン使用規程第5条の規定による使用料金〉

- 4時間を1単位として、下記の料金とする。

時間	料金
4時間まで	5,000円
8時間まで	10,000円
12時間まで	15,000円

鶴翔同窓会鶴翔会館エアコン使用規程

第1条の規定による『第三者』

- 同窓会及び学校側以外の者
- 同窓会とはあくまでも同窓会長が主催する事業・行事であって、同窓会員が関係する団体、又は、各年度等の同窓会員主催による事業・行事は第三者とみなし、エアコン使用料金の支払いが必要となる。

創立125周年記念事業として計画しました標記事業実施にあたりましては、事業費不足の懸念があるため、特別寄付金をお願いしましたが、滞りなく実施することができました。ご協力をくださいました皆様には、厚く御礼申しあげます。

(特別寄付金：484件、4,087千円)

7月1日の創立記念式典・講演会は鶴翔会館で開催しましたが、お蔭様で快適な環境の中で挙行することができました。

○事業内容：ガスヒートポンプエアコン
(室外機：2基、室内機：14台)

○事業主体：「鶴翔会館エアコン
整備事業実行委員会」
実行委員長 酒井忠久
実行委員 佐藤 誠、森 俊直、地主忠夫、
石垣 純、土岐秀昭、吉田修平

○事業概要

- 設計・監理業務委託：(有)吉田建築設計事務所
代表取締役 吉田 修平(昭35年卒・67回)
- 請負業者：荘内配電管工(株)
代表取締役 齋藤 渉
- 工期：平成25年11月25日～平成26年2月21日
(追加工事を含む)
- 事業費：設計・監理委託費 1,155,000円
エアコン整備工事費 9,897,300円
(追加工事を含む)
事務費 18,790円
計 11,071,090円
- 事業費の支出は「事業積立金会計」から

◎エアコン使用にかかわる経費負担等

平成26年3月1日に、同窓会長・校長・PTA会長の3者により、次のとおり覚書を締結した。

- ガス使用料 → 第三者(同窓会・学校以外)を除き学校側の負担
- 室内機のメンテナンス(原則毎年) → 学校側の負担
- 室外機のメンテナンス(原則5年毎) → 同窓会・学校側各々1/2の負担
- 故障時の修理費 → 同窓会・学校側各々1/2の負担
- 第三者(同窓会・学校以外)の使用 → 「鶴翔同窓会鶴翔会館エアコン使用規程」による
(平成26年6月4日施行、理事会議決)

Q1 退職後はどのようなようにすごされていますか

もう14年になります
が、初めの3年間は鶴東高の非常勤講師や、六学区コミセンの役員をしていました。教員生活の延長だけで人生を終えるのとは思い法律を学びました。定年後4年目に中央大学から学士号を頂いたのを機に、再び鶴東高の非常勤講師を務め今年3月で終えました。



Q2 健康に留意されていることは
現職時代に体調を崩して年休を取ったことはなく、今も健康だと思っています。スポーツは余りやりませんが、ランニングは40年ほど続けています。走る楽しさを励ましながら教えてくれたのが、事務の菊地光男さん、数学の東野彰先生です。校内マラソンでは男子生徒と走りました。今でも早朝5キロは走っています。それが健康に結びついているのかもしれない。

Q3 他に趣味は何かお持ちですか
趣味と実益を兼ねて家庭菜園づくりに励んでいます。少し離れた所に百坪余りの菜園を求め、20種ほど無農薬で作っています。一人でやるよ

恩師を訪ねて

上野正勝先生

(昭和45年〜昭和53年
昭和61年〜平成4年)
平成7年〜平成10年) 数学

8/20 新海町のお宅に伺いました。聞き手 森 俊直・写真 加賀山捷三

せんでした。以前はクラシックギターを弾いていましたが、最近NHK講座「オカリナ」の受講を始め、何とかものにしたと思っています。

Q4 南高生時代の思い出は

印象に残った講演が二つあります。一つはドイツ語辞典の編集者相良守峯先生のご講演、優れた先輩がおられることを誇りに思いました。

二つ目は日本人初のノーベル賞受賞者、湯川秀樹先生の

ご講演です。当時、先生の自叙伝「旅人」が朝日新聞に連載されていて、私はそれを興味深く読みました。ご自分の研究室に本校卒で優れた弟子がいる、その母校を見たいと思いい出向いたとのこと。石田晋氏(59回)のことで、昭和49年にやはり講演をされています。Q5 毎年7月の祝賀会に多くの同期生が出席される訳は
私は母校に勤務した教員だから出席すべきだと思つてき

た。多くの同期生が出席する理由は分からないが、南高時代を懐かしく思った人が祝賀会に出た時、次回もまた会おうと声かけはしています。

Q6 母校には3度お勤めですが、夫々の時代での生徒の違いはありますか
新採としての昭和45年から9年間で3回卒業生を担任できたことは、思い出も多かった。その前東京での私学5年の経験が生きたと思えます。数学の授業は学年オープンなので全体の様子も分かり、学習意欲も向上心も高い生徒が多かったですね。共通一次の第一回目の卒業生の時は資料も少なく、受験校選びに苦労しましたが医学部や難関大学に多く進学しました。



けた理数科のクラスです。今年8月が49回目のクラス会になりました。(写真)

3回の卒業生とも修学旅行は志賀高原で山歩きが多く、現在の修学旅行とは様子が違っていました。

2度目の勤務は昭和61年から6年間でした。以前の生徒と学力や資質において変わりがなく文武両道に努め、すばらしい成果を収めた生徒が多かったと記憶しています。

3度目は3年間ですが教頭職でした。通算18年勤務したことになりますが、当時の記憶や記録は私の宝物です。

Q7 長年にわたり続けているクラス会があるそうですが
昭和52年(一九七七)卒業した年から今年まで欠かさず続

ています。社会経験を積んできた一人ひとりの話にも含蓄があり、それを聞くことは私の楽しみです。

Q8 最近も6月に母校で教えていますが、最近の生徒はどんな風感じられますか
4週間でしたが3年生を担当しました。20年ぶりの授業で新鮮でした。受験に向けた授業内容も整備され、生徒の態度は真剣そのもので勢いを感じました。

Q9 最後に鶴南生に望むことは
自らを高め世界に向かって大きく翔く生徒が一人でも多く出ることを期待します。



嗚呼！同期の絆

59回生（東京二七会）

傘寿の集い

東京開催の昭和27年卒同期会は、昨年11月8日、傘寿を記念し開かれました。鶴岡から4名、仙台から3名が参加し36名が代々木会場に集合しました。

私達59回生の高二、三年次は、現南高、北高を統合し、それぞれを南、北校舎と称した鶴岡高校が学び舎でした。当会は発足時には南北に分かれていましたが、昭和61年から合同の会になり毎年開催されています。

この度49回目を迎え、池田輝之君の司会で開会しました。逝去された恩師、友に黙祷を捧げた後、幹事代表の挨拶、次いで遠路参加者を代表し田口善次郎君、鶴岡で開催の二七会は平成23年が最終回となり、同期生に会う機会が少ないこと、鶴翔会館の設備拡充への協力依頼などがありました。引き続き鶴岡在住の前田光彦君が当会の続行を願って乾杯の音頭を取り宴に入りました。

今回特筆すべきは、夜間課程卒の元衆議院議員上野建一君の



初参加でした。市役所（土木課）に勤務しながらの通学、復員してきた年長者と共に学んだ授業などを伺い、感銘をうけた次第です。
宴たけなわの中、民謡やナツメロが披露され、さらに芸大卒の音楽家、中村順一君が復興支援歌「花は咲く」を詠唱。年齢80にして迫力のあるアリアに一同酔いしれました。

懸案の会の今後が話題及び、年齢や手間を案じて議論沸騰、友との再会は明日の活力源との意見もあり、幹事への協力を願う一年後の開催を決めました。

結びに木造の校舎、叡智の殿堂を偲び校歌を斉唱し、体調すぐれない友の一日も早い回復と再会を望み閉会しました。お別れに斎藤優三君手作りの傘寿記念の置物が配られ、長寿を祈り散会しました。

（佐藤本次郎記）

63回生 57周年

ミニギャラリーを開設して

昭和31年卒業の同期会は、5年に1回、鶴岡・東京と交互に開催していた。当然のことながら年々鬼籍に入る者の多さに、5年の中間に一度集まろうと57年記念という中途半端な開催となった。折りしも年齢は喜寿にあたる。何より自身の健康に自信ある者38名が10月13日に、東京駅至近距離の八重洲富士屋ホテルに集まった。

私共63回卒は、南高1年の学年末テストを前に校舎が火災焼失という憂き目に遭い、修学旅行は中止、ごねて秋田へ日帰りバスの旅で思い出をつくった学年である。

今回「老後の生活にゆとりと憩いを求めて、彷徨い歩く同胞



も多いかと……」というキャッチフレーズで、ミニギャラリーなるものを設けたところ、8名の出品があった。何しろ毎年白麴社展で入賞常連の平田宏君、磯見明子さんが同期なのだ。当時担任して頂いた中村昭太郎先生は快く竹塗りの作品を出展して下さいました。作品は日本画、水彩画、油絵、書、手芸、写真とバラエティーに富み話のきつかけになって好評だった。

当日、猛暑の名残りの気温だったが、鶴岡、酒田からの出席者はスカイツリーを中心に東京見物する者あり、両国に歩を

向けチャンコ鍋で精力をつける者あり、台風26号の余波を受け帰省の足が乱れたとか、それでも「次回は何時開くのだ？」の声もとび、傘寿・白寿までの開催を契り、残金を次回幹事へ申し送った。

鎌田（旧佐藤）喜子記

81回生 40周年

昭和49（1974）年卒業の私たちは、今年40周年の節目を迎えました。母校創立記念祝賀会の当番学年として、昨秋より各クラスの代表や有志の参加を得て、6組の秋山伊佐雄実行委員長を中心に、7月1日の「創立126周年記念祝賀会」の運営に加わり、会を盛り上げることができました。そして、その仲間たちが中心となって、40周年記念同期会を9月14日、東京第一ホテル鶴岡で開催しました。

午後2時の記念撮影から始まった同期会には、学年主任であった五十嵐文夫先生を始め4名の恩師を含めて69名（二次会からの参加を含めれば70名以上）の同期生が集合しました。開会の言葉、物故者への黙祷、



実行委員長挨拶と続き、恩師4名の方々から近況報告や当時の思い出、そして亡くなられた恩師のお話などがありました。年齢としてはもう老境に入られた（失礼！）先生方でしたが、嬉しそくに話されるそのお声はまだ若々しく、私たちも負けてはいられないという気持ちになりました。

地元で活躍している、もうりタイアして少しゆっくりしている、新潟や首都圏からかけつけたなどなど、クラスの粋をこえての笑い声、話し声、容貌や体格は変わっても、同級生として3年間過ごした仲間は変わりませんでした。

午後4時過ぎに「山河の姿」を全員で合唱し、クラスごとに設定された二次会に別れていきましたが、閉会の辞で50周年もぜひやりましょうという言葉に、多くの賛同の声が上がりました。その50周年を楽しく迎えるためにも、お互いにお元気で……皆そう思いながら会場を後にしました。（学年理事 松森昌記）

91回生 30周年

平成26年8月16日、グランドエル・サンに於いて、卒業30周年記念同窓会の開催でしたが、赤川花火大会と同日開催であったため、何人が参加するか心配しましたが、88名の出席となりました。

同窓生の中には宿が取れず出席を断念した方もいたとのこと、ごめんなさい。
当日は、梅木英造先生、白幡進先生、那須茂彦先生、佐藤経子先生の4名の先生方から、お忙しいところご出席いただき、懐かしいお顔を拝見することが



101回生 20周年

庄内の夏を彩る花火大会と同じ日に行われた第101回生20周年同期会。

実行委員長佐藤知志君（4組）の参加者全員との「ウエルカム握手」で始まった会は、夏の暑さに負けないくらいの盛り上がり。先生方と同窓生合わせて総勢11名の参加となりました。学年主任の渡部誠一先生の変わりぬ広い「心」と「背中」。1組 佐藤孝敏先生、2組 岩本篤先生、3組 諸原正巳先生、4組 藤井信二先生、5組 五十嵐一明先生、各担任の先生方からの叱咤激励のスピーチ。6組 夷藤雅純先生はインターハイ引率で、メッセージをいただきました。一方同窓生も、多方面で活躍しています。1組 出雲路徳さん、2組 池田邦恭くん、3組 渋谷謙くん、4組 饗庭真千代さん、5組 伊藤秀一くん、6組 本間洋希くんからの近況報告。高校時代先生方に毎日「激励」されていた私たちも社会では中堅どころ。お互いのことや、思い出話に花を咲かせて、笑いあい、語り合ったことで日頃のちよっとした息苦しさを解放させた仲間も少なくなかったのでは。話は尽きない中、応援団長代理のメールで気合いをいれてもらい、校歌斉唱

で一次会を閉じました。
二次会も予定よりも多くの参加があり、花火そっちのけで語り、笑い、変わらぬ友情を確かめ合ったところです。
早くも実行委員は10年後の同期会の計画を始めました。今回つながった絆を大切にしていきたいと思つた幹事一同でした。（小林明子記）



輝かしい在校生の活躍

今年度、インターハイをはじめとする各種上位大会に数多くの生徒が出場し、水泳部の西脇怜奈さんの2種目全国制覇を筆頭に、輝かしい成績を収めました。

【インターハイ】

●水泳部

女子200m背泳ぎ
優勝 西脇怜奈
(2年連続優勝)

女子100m背泳ぎ
優勝 西脇怜奈

女子400mメドレーR出場

女子400mフリーR出場

女子50m自由形出場

五十嵐悠

●アーチェリー部

男子団体出場

女子個人出場 船見真奈

●弓道部

男子団体出場

男子個人出場 小林博文

●陸上競技部

女子400m出場

五十嵐香穂

●体操(設置外活動)

女子個人出場 菅原 愛

【全国高校総合文化祭】

●音楽部 合唱部門参加

●科学部 化学部門発表

●美術部

絵画部門出展 菅野 南

●将棋(設置外活動)

個人戦出場 本間瑞生

【東北大会】

水泳部、アーチェリー部、弓道部、陸上競技部、体操の5競技30種目に、のべ59名の生徒が東北大会に出場しました。上位入賞のみを紹介します。

●水泳部

女子200m背泳ぎ

優勝 西脇怜奈(東北新記録)

女子100m背泳ぎ

優勝 西脇怜奈

女子400mメドレーR 2位

女子50m自由形

3位 五十嵐悠

●アーチェリー部

男子団体 優勝

男子個人

優勝 熊澤拓巳

【国民体育大会(9・10月)】

●水泳部

少年女子A200m背泳ぎ

優勝 西脇怜奈

難波颯紀 五十嵐悠 出場

●アーチェリー部

熊澤拓巳 五十嵐大地

船見真奈 出場

●体操(設置外活動)

菅原 愛 出場

【その他の大会】

●吹奏楽研究会

東北大会 銀賞受賞

●音楽部

東北大会出場(9月)

●科学部

高校生バイオサミット

環境大臣賞受賞 伊藤光平

全国SSH研究発表会参加

●将棋(設置外活動)

全国高校将棋竜王戦

準優勝 岡部寛太

●野球部

夏の甲子園県予選ベスト8

3回戦には全校応援で臨んだ。

【全国選抜大会(H25下期)】

●アーチェリー部

男子個人出場 白旗一満

女子個人出場 船見真奈

●弓道部

男子団体出場

【東北選抜大会(H25下期)】

●アーチェリー部

男子団体 3位

女子個人

優勝 船見真奈(2年連続優勝)

●弓道部

男子団体 ベスト8

○「南工定期戦」の結果

野球 8対3

サッカー 3対2

職員サッカー 2対0

全てが勝利するというすばらしい成績を収めました。

進学校として求められる勉学と並行し、文武両道を実践している証と思われまます。これらの活動を通し、今後更に学校全体の機運が高まることを期待しています。

南高祭スケッチ

7/23(水)~24(木)

スローガン=Unite



撮影：地主忠夫(70回)



母校だより

全日制の課程

平成二十六年年度教職員の異動

(転 出)
 石垣 純(事務部長・県庁秘書広報課)
 門田 正彦(教頭・酒田東高)
 齋藤 祐一(国語・鶴岡北高)
 池田 理(生物・新庄北定時教頭)
 伊藤美喜雄(英語・アトバイザー退職)
 藤井 良明(社会・常勤講師退職)
 畑山 智洋(数学・常勤講師退職)
 山口 邦雄(国語・非常勤講師退職)
 田中 芳昭(化学・非常勤講師退職)
 上野 司(実習講師退職)
 岡 幸喜(校務補助員退職)
 (転 入)
 吉川 透(事務部長・県庁情報企画課)
 坂尾 聡(教頭・高校教育課)
 坂尾 聡(教頭)
 吉川 透(事務部長)
 安野 浩夫(国語・鶴岡中央高)
 本間 篤士(社会・新庄神室産業高)
 三宅 国彦(生物・酒田光陵高)
 富士 直志(数学・教科アドバイザー)
 阿部 智久(数学・常勤講師)

時田 佳穂(実習講師)
 井上 民子(校務補助員)

通信制の課程

平成二十五年年度卒業生
 四十四名
 (九月：七名、三月：三十七名)

平成二十六年年度教職員の異動

(転 出)
 富樫 淑子(国語・退職)
 石垣 純
 (事務部長・県庁秘書広報課)
 土門 和宏(理科・酒田西高)
 土岐久美子(保体・退職)
 青木真由子(主任主事・鶴岡養護)
 (転 入)
 吉川 透
 (事務部長・県庁情報企画課)
 齋藤 仁(理科・酒田東高)
 小野田潤一(国語・非常勤講師)
 佃 悠帆(保体・非常勤講師)
 土岐 恵理(主任主事・鶴岡養護)
 平成二十六年年度進路状況
 ①一橋大、医学部医学科合格
 ②東北大に2桁合格
 ③国公立大に128人合格

進路状況



進路指導主事
 砂田 智

《センター試験》

生徒195人がセンター試験に受験した。5教科900点型で本校平均点は606.7点。全国平均566.1点を40点以上上回り県内高校別で2位の好結果となった。

《合格状況》

難関の一橋大に現役生では2年ぶりの合格。また、東北大には昨年度を上回る県内2位の2桁10人合格となった他、東京外語大、北海道大など、難関大に多くの合格者が出た。難関の医学部医学科には、山形大に1人合格した他、過年度生も5人合格し、合わせて6人合格と健闘した。

国公立大学の合格者数は128人で在籍数に対しての合格率が65%となり、合格者数も合格率も5クラスになって過去2番目の好結果となった。近隣の山形大と新潟大に合わせ40人合格したのをはじめ、千葉大、金沢大等に多数合格するなど、各大学で健闘した。

主な大学合格者数 (現役のみ延べ人数)

国公立大学	北海道	1	国公立大学	秋田県立	3
	北海道教育	3		山形県立保健医療	5
	弘前	2		新潟県立	3
	岩手	1		高崎経済	5
	東北	10		首都大学東京	1
	宮城教育	2		その他	12
	秋田	6	国公立大学計		128
	山形	23	私立大学	青山学院	3
	福島	2		慶應義塾	3
	茨城	4		中央	5
	筑波	2		東京理科	4
	宇都宮	2		日本	2
	埼玉	5		法政	1
	千葉	7		明治	8
	東京外国語	1		立教	1
	東京学芸	4		早稲田	4
	一橋	1		その他	147
新潟	17	私立大学計		178	
金沢	6				

る延べ178人の合格。難関の早稲田大、慶應大など多くの大学に合格者を出し健闘した。

過年度生は、国公立大学は東北大医学科、弘前大医学科、秋田大医学科などに15人合格、私立大学は東京理科大、同志社大などに延べ54人合格と健闘した。

進路状況

卒業生数	197
進学内訳	
国公立大学	119
私立大学	43
短期大学	3
各種学校	5
進学者計	170
就職者数	2
進学準備等	25

ネパールの小学校で 算数を教えています

寄稿

三川町出身 佐野彩香さん (平15卒・110回) 青年海外協力隊として

ナマステ！（こんにちは）皆さんいかがお過ごしですか。広島での土砂災害のニュースはここネパールでも報道され、同じような被害にあった日本に対し、また、亡くなられた方たちに対して皆同情しています。ここネパールでも最近同じような土砂災害が起こったばかりです。

今回、記事掲載のお話をいただき、ありがとうございます。

私は現在、青年海外協力隊として（職種：小学校教育）ネパールのシヤンジャ郡シヤンジャというまちに派遣されています。首都カトマンズから西へ250キロ程。ここで、現地の先生たちと一緒に小学生の子どもたちへ算数を教えています。

厳しい教育環境

ネパールの識字率は60%程、今では国内の学校建設も進み、子どもたちは学校へ行くようになってきています。しかし、全ての場所がそうではなく、村では毎日何時間も歩いて学校へ行かなければならない子どもたちもいます。山に囲まれたネパールでは、歩く道のりも平坦ではありません。子



どもたちが全教科分の重い教科書を背負って歩いてくることを考えると、頭が下がる思いです。休日は週一日、土曜日です。学校は日曜日から金曜日までの6日間、朝10時から午後4時までで、金曜日は少し早く終わります。

ネパールの教育は画一的な指導、給料が少ないために教員の意欲が低いことなどの問題から、留年・ドロップアウトしてしまう子どもたちが多いことが問題となっています。

もちろん日本の学校と比べると問題だらけなのですが、それらを指摘するだけではなく、現地の先生と話し合いながらより良い方法を探しているように考えています。

生き生きとした 子どもたちの表情

しかし頭を悩ませる問題だけではなく、子どもたちは毎日明るく学校へ通い、生活しています。兄弟で仲良く登校したり、外に座ってお昼のおやつを食べたり、学校から帰るときも終業時間が違うので、お兄ちゃんお姉ちゃんが終わるまで一緒に座って待っていたり…。子どもたちの生き生きとした表情を見ると、やはり『学校』は特別な場所なのだと感じます。私も経験していませんが、ちょうど一昔の日本をイメージしてもらえばよいのではないのでしょうか。子どもたちが「学ぶことが楽しい」と思えるような授業を、ネパール人の先生が行えるように今後も活動していきたいと思っています。

ガーナの兄弟に 心打たれ 決心

私は鶴岡南高等学校の第3学年の時に自分の進路を決めました。その時に見た一つのテレビ番組がきっかけでした。

『世界が1000人の村



だったら』アフリカ・ガーナの兄弟が学校へ行かずに働いている児童労働がテーマでした。お兄ちゃんだけが時々学校へ行き、仕事が終わってからのわずかな時間に2人でロボロボのノートと短い鉛筆で勉強している様子でした。自分たちの収穫しているカカオの実が、チョコレートになることも知らずに働かなければならない状況にいる。どうしてこんな子どもがいるのか、学びたいと思っている子どもたちにできることはないのか：子どもたちの可能性を伸

ばすための手助けをしたいと思
い、大学進学を決めました。
私が教師になった、そもそ
もの始まりはここからでした。
横浜で小学校の教員を務め、
満を持して青年海外協力隊へ
応募しました。考えてみると、



その時からもう10年が経って
います。どの国でも、子ど
もたちが自ら学ぼうとする姿
勢は素敵です。その成長を身
近で見ることが出来る、教師
という仕事は本当によいもの
だとつくづく感じます。

毎日が楽しくて ネパールが大好きに

今、私の周りには「アヤカ
Miss」と呼んでくれるかわ
い子どもたち、学校で協力
してくれる先生たち、近所に
住んで声をかけてくれるま
ちの人たちがいます。よく「日
本に早く帰りたいんじゃない
の?」とネパールの人に聞か
れますが、周りにいる優しい
たくさんのおかげで寂し
さを感じることもありません。
任期は残り1年。このネパー
ルを去る時が来ることを考え
ると、今から切なくなります。
一年前までは何も知らな
かったこの国が、今は大好き
になりました。日本ではでき
なかつた体験もたくさ
んありました。これま
で知らなかつたことを
知る、どきどき・わく
わくの毎日がこれから
もたくさんあること
でしょう。子どもたち
にとってもそうですが、
私にとつての毎日もそ
うであるようにと思っ
ています。
ブログに写真を載せ
ています。もしよろし
ければご覧ください。

アドレスは

<http://ayaka2013.blog.fc2.com/>
です。

……事務局より……
佐野彩香さんに連絡をとり、
原稿のやり取りなど全てにお
いて快く仲介してくださいま
した。独立行政法人国際協力
機構東北支部JICA山形デ
スクの三澤香織様にお礼し
上げます。ご協力誠にありが
とうございました。



叙勲・表彰 誠におめでとうございます

(敬称略、「同窓会だより」第54号以降判明分) 平成26年10月1日現在

加藤捷男	昭35年・第67回	平成25年秋	旭日双光章(金融業功労)
齋藤英雄	昭35年・第67回	平成25年秋	瑞宝双光章(教育功労)
中島信勝	昭38年・定第34回	平成25年秋	瑞宝双光章(警察功労)
菅井 健	昭42年・第74回	平成25年秋	瑞宝双光章(保健衛生功労)
柿崎泰裕	昭44年・第76回	平成25年秋	山形県教育功労者表彰
田中芳昭	昭46年・第78回	平成25年度	山形県教育功労者表彰
水原 泉	昭18年・第51回	平成26年3月	瑞宝双光章(教育功労)
佐藤 晃	昭33年・第65回	平成26年春	瑞宝小綬章(教育功労)
金子昭吾	昭37年・定第33回	平成26年春	瑞宝単光章(消防功労)
加藤志枝	昭46年・第78回	平成26年春	瑞宝双光章(社会福祉功労)
押井喜一	昭43年・第75回	平成26年度	鶴岡市市政功労者表彰(地方自治功労)

～ふるさと山形へおかえりなさい～

山形県Uターン情報センター

山形県へのU・Iターン就職を積極的に
サポートします!

【場所】 山形県東京事務所内
(東京都千代田区平河町2-6-3)

【電話】 03-5212-8996

【HP】 「山形県Uターン」で検索!

すまいる山形暮らし案内所

山形暮らしや住まい情報を提供します!
東京事務所でも相談可能!

【場所】 山形県企画振興部市町村課内
(山形市松波2-8-1)

【電話】 023-630-3083 (山形)
03-5212-9027 (東京)

【HP】 「山形暮らし」で検索!

東北南部三県高等学校 通信制生徒研修会鶴岡大会

七月五日、六日の日程で、城下町鶴岡で伝統文化に触れ、親睦を深めよう」というサブテーマのもと、「東北南部三県高等学校通信制生徒研修会鶴岡大会」が本校を会場・主管で実施されました。

山形、宮城、福島には四つの通信制高校があり、毎年持ち回りでこの研修会を実施しています。今回が五十六回目という歴史ある会です。目的は、各通信制高校に通う生徒たちの交流と親睦を深め、日頃考えている事柄について意見交換をし、それを持ち帰ることで各学校での活動に役立ててもらおうというものです。各校の生徒会役員を中心としたメンバー四十七人が参加しました。本校では、主管校ということで生徒会以外の一般生徒にも参加を呼びかけたところ、総勢十七人の参加がありました。普段登校の機会があまり多くない本校生としては、かなり多い参加数でした。

研修では交流・親睦の目的

で「仲間捜し」や、複数の種目で得点を競うゲームを行い、続いて鶴岡の伝統工芸品である「絵ろうそく」作りを体験しました。初めはやや遠慮のあった生徒たちも打ち解け合い、討論会に臨むことができました。討論会では、「通信制の生活を充実させるためには」という統一テーマのもと、五つの班でそれぞれに具体的な討論内容を決め、全体会での発表をするという形式で行われました。参加者それぞれが真剣に、時には冗談を交えながら、話し合いを進めて行き、全体会でも質問や意見が活発に出るなど、充実したものになりました。



交流の機会を得たことで、「楽しかった」、「機会があればまた参加してみたい」、「自分の考え方が変わるきっかけになった」などといった感想が寄せられ、一人ひとり内容は違うものの、有意義な体験になったようです。

企画や準備に苦労するところは多かったですが、参加した生徒たちにとっては、今後の学校生活にも有意義な体験となりました。
(生徒指導主事 川安 浩)

お詫びと訂正

会報54号において、誤った記載がありました。改めてお詫びを申し上げます。次のように訂正します。

〔叙勲欄〕

富樫裕孝(昭29年・第61回) 平成24年秋瑞宝小綬章(郵政)

〔訃報欄〕

阿部善之(昭24年・第56回) 誤記でした。削除をお願いいたします。

尚、ご両人とは連絡を取り、了解をいただいております。

平成26年度 鶴翔同窓会役員・事務局体制

○役員

会長 齋藤 正志(昭44、新)
副会長 國井 英夫(昭44、新) 田中 芳昭(昭46) 黒澤 久子(昭46、新)
中條 芳男(昭49通信、新) 滝川 義朗(昭51、新)
柴田 曜子(校長)
会計監事 長坂 紳一(昭48) 渡辺 祐二(昭50、新) 菅原 一浩(昭60)

○事務局

事務局長 森 俊直(昭43、新)
事務局次長 加賀山捷三(昭36)
事務局員 土門 公子(昭30) 佐藤 隆(昭35) 地主 忠夫(昭38)
藤本 典行(昭44) 高樹 陽子(昭45) 小松 建男(昭46、新)
近藤 直志(昭46、新)
学校側 吉川 透(事務部長、昭55、新) 坂尾 聡(全日教頭、昭55、新)
庄司 豊(通信教頭) 土岐 秀昭(総務課長、昭48)
事務補助員 菅原みづえ(昭53)

平成25年度 鶴翔同窓会 会務報告

月 日	名 称	場 所	出 席 者
4月8日(月)	鶴岡南高 全日制入学式 (入学者200名)	鶴翔会館	会長、副会長、事務局長
4月14日(日)	鶴岡南高 通信制入学式 (入学者 34名)	鶴翔会館	副会長 (佐藤)
5月15日(木)	鶴翔同窓会 役員会	グランドエル・サン	
5月24日(金)	創立125周年 第2回実行委員会	鶴南高会議室	80・90・100回生 他
5月26日(日)	関西鶴翔同窓会 総会	神戸酒心館	会長、校長
6月3日(月)	鶴翔同窓会 理事会	鶴南高会議室	
6月15日(土)	東京鶴翔同窓会 総会	大手町サンケイプラザ	会長、校長
6月27日(木)	創立125周年 第3回実行委員会	鶴南高会議室	80・90・100回生 他
7月1日(月)	13:00~創立記念式典 14:00~記念講演 渡部昇一氏(56回生) 17:00~鶴翔同窓会総会 18:15~創立125周年祝賀会	鶴岡市文化会館 グランドエル・サン	168名
7月5日(金)	羽黒支部 総会	羽黒(大進坊)	会長、庄司教頭
7月27日(土)	鳴鶴会(北海道鶴翔同窓会) 総会	札幌ガーデンパレス	会長、猪口教諭
7月28日(日)	通友会 総会	ひらた農村センター	副会長(佐藤)、校長、教頭
7月29日(月)	エアコン整備実行委員会① ② 8/19 ③ 9/26 ④ 10/29 ⑤ 11/20 ⑥ 12/10 ⑦ 1/21 ⑧ 3/25	鶴翔会館事務室	実行委員長(酒井) 他6名
8月31日(土)	仙台鶴翔同窓会 総会	仙台スマイルホテル	副会長(俵谷)、門田教頭
8月31日(土)	新潟支部 総会	新潟BSデュオ	副会長(齋藤)、校長
9月3日(火)	臨時役員会	鶴翔会館事務室	
9月4日(水)	山形鶴翔同窓会 総会	山形グランドホテル	会長、校長
9月27日(金)	鶴岡南高 通信制前期卒業式 (卒業生7名)		
10月1日(火)	臨時理事会	鶴南高会議室	
11月21日(木)	同窓会だより「第54号」発行		
平成26年 1月28日(火)	創立126周年 第1回実行委員会	鶴南高会議室	81・91・101回生 他
2月11日(火)	櫛引支部のつどい	櫛引 ゆ〜Town	会長、校長
3月1日(土)	鶴岡南高 全日制卒業式 (卒業生197名) 同窓会入会式 鶴翔会館エアコン使用に係る経費負担等の 確認のための「覚書」の締結	鶴翔会館 鶴翔会館事務室	会長、副会長(俵谷、田中、 中條、齋藤)、事務局長 会長、校長、PTA会長
3月16日(日)	鶴岡南高 通信制卒業式 (卒業生 37名)	鶴翔会館	副会長(中條)

訃 報

謹んで哀悼の意を表します

(敬称略「同窓会だより」第54号以降判明分)
平成26年9月30日現在

佐藤 進	旧職員・S23~S41 S46~S56 昭19年・52回	富樫 公一	昭20年・定15回	宮野 嵩	昭29年・61回
金井 一雄	旧職員・S43~S52 S62~H元 昭21年・54回	八木(俵谷)美三郎	昭20年・定15回	川井 徹也	昭29年・61回
中田 義雄	旧職員・S42~S62 昭27年・59回	今野 直	昭21年・54回	渡辺(本間)美枝子	昭29年・61回
阿蘇 和夫	旧職員・S47~H3	寺島 久和	昭21年・54回	上野 史郎	昭29年・定25回
佐藤 元	旧職員・S54~S58	渡部 敏雄	昭21年・54回	岡部 治男	昭30年・62回
海和 重雄	旧職員・S57~S60	今野勘左衛門	昭21年・54回	伊藤 吉雄	昭31年・63回
佐藤 毅	昭9年・42回	榎本 勉	昭21年・54回	五十嵐(大瀧)喜代	昭31年・定27回
斉藤 浩一	昭10年・43回	斎藤 哲朗	昭23年・55回	菅原 誠	昭32年・64回
佐藤 玄理	昭10年・43回	三浦 永三	昭23年・55回	砂田 清一	昭32年・通1回
地主 正範	昭11年・44回	渡部(石川)真次	昭23年・定17回	田中 信彦	昭33年・65回
三浦 金作	昭12年・45回	浅井 英一	昭25年・57回	新橋 省三	昭33年・65回
本間 勝助	昭12年・45回	山科 恵一	昭25年・57回	渡会 保	昭33年・65回
豊田(吉川)正	昭12年・45回	菅原 淳	昭25年・57回	竹野善一郎	昭33年・65回
竹沢進一郎	昭13年・46回	佐藤 稔	昭25年・57回	荒木 勉	昭34年・66回
小林七三郎	昭13年・46回	池上 義男	昭25年・57回	本間(斎藤)民子	昭34年・66回
朝岡 仲次	昭13年在籍	五十嵐 寛	昭25年・57回	佐藤 保幸	昭35年・67回
齋藤 勇雄	昭14年・47回	佐藤(早坂)和子	昭25年・定20回	佐々木 信	昭35年・67回
川安 正	昭15年・48回	杉山 隆志	昭26年・58回	石川 二郎	昭37年・69回
石川錬太郎	昭16年・49回	柳沢(川俣)博子	昭26年・58回	渡部 守	昭37年・69回
桑島(田村)栄輔	昭17年・50回	佐藤(飯垣)秀津子	昭26年・58回	加藤 庸介	昭39年・71回
佐藤仁右衛門	昭18年・51回	玉山(佐藤)禮子	昭26年・58回	阿部 功	昭39年・71回
中村 純	昭18年・51回	金子 善一	昭26年・58回	奥山 吉弥	昭41年・73回
五十嵐(阿部)繁男	昭19年・52回	横堀 貞	昭26年・58回	今野 健一	昭41年・73回
阿宗 文雄	昭20年⑤・53回	宮川 清	昭26年・定21回	中山 雅良	昭42年・74回
伊藤 良弘	昭20年⑤・53回	成田 初穂	昭27年・59回	斎藤 壽彦	昭47年・定43回
鈴木 弘	昭20年⑤・53回	板垣(斎藤)薫	昭27年・59回	阿部(五十嵐)寛子	昭48年・80回
加藤(佐藤)富次郎	昭20年⑤・53回	菅原 勉	昭27年・59回	鈴木 康晴	昭51年・83回
坂 清治	昭20年④・53回	渡辺 洋一	昭27年・59回	富樫 泰	昭53年・85回
匹田 良平	昭20年④・53回	日向 康吉	昭27年・59回	桜井 孝	昭54年・86回
		秋場 正巳	昭28年・60回	池田 亮	昭55年・87回
		小松(佐藤)誠	昭28年・60回	本間 章博	昭56年・88回
		桜井 常雄	昭28年・定23回	田中(富樫)協子	昭59年・通28回
		斎藤 公一	昭28年・定23回	本間千穂子	平20年・通52回
		池田喜久雄	昭28年・定23回		

平成25年度 鶴翔同窓会会計決算書

自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日
単位：円

1. 収入の部

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減	備 考
1 会 費	6,650,000	5,065,089	▲1,584,911	
① 入 会 金	1,150,000	1,205,000	55,000	@5,000×245名(全日197名、通信44名)
② 維 持 会 費	5,500,000	3,860,089	▲1,639,911	1,911件
2 手 数 料	0	0	0	
3 寄 付 金	3,000,000	4,087,000	1,087,000	484件
4 繰 入 金	0	1,253,172	1,253,172	(決算処理として事業積立金会計から繰入)
5 繰 越 金	0	0	0	前年度より繰越金
6 雑 収 入	1,000	18,052	17,052	名簿販売(3冊)、預金利子
合 計	9,651,000	10,423,313	772,313	

2. 支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減	備 考
1 運 営 費	1,680,000	1,610,349	▲ 69,651	
① 会 議 費	50,000	69,614	19,614	事務局・理事会会議
② 需 用 費	90,000	55,386	▲ 34,614	はがき・切手・事務用品等
③ 事 務 費	650,000	650,000	0	PTA書記給与負担金
④ 旅 費	500,000	485,939	▲ 14,061	支部総会出席旅費等
⑤ 支 払 手 数 料	270,000	210,365	▲ 59,635	維持会費振替手数料
⑥ 雑 費	120,000	139,045	19,045	電報料・部活動祝金・諸雑費
2 事 業 費	7,950,000	8,812,964	862,964	
① 同窓会報印刷発行費	2,800,000	2,673,544	▲ 126,456	印刷費・封筒・発送費等
② 創立記念事業費	1,000,000	933,180	▲ 66,820	案内印刷、祝賀会補助、実行委員会会議費等
③ ホームページ運営事業費	250,000	217,690	▲ 32,310	ホームページ運営費
④ 支部総会補助費	150,000	161,000	11,000	支部総会祝金
⑤ 在校生活動奨励費	400,000	400,000	0	全日300,000円 通信100,000円
⑥ 卒 業 記 念 品	190,000	192,500	2,500	卒業証書ファイル(@770×250冊)
⑦ 鶴翔会館維持整備費	160,000	148,050	▲ 11,950	鶴翔会館ホール照明ランプ交換、放送設備修繕
⑧ 事 業 積 立 金	3,000,000	4,087,000	1,087,000	(事業積立金会計へ)
⑨ 特別会計繰出金	0	0	0	
3 予 備 費	21,000	0	▲ 21,000	
合 計	9,651,000	10,423,313	772,313	

平成25年度 鶴翔同窓会事業積立金会計決算書

自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日
単位：円

1. 収入の部

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減	備 考
1 積 立 金	3,000,000	4,087,000	1,087,000	同窓会会計「寄付金」を繰入
2 繰 越 金	12,147,453	12,147,453	0	前年度よりの繰越金
3 雑 収 入	547	1,599	1,052	預金利子
合 計	15,148,000	16,236,052	1,088,052	

2. 支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減	備 考
1 教育振興事業費	9,500,000	11,071,090	1,571,090	創立125周年記念事業(鶴翔会館エアコン整備)
2 特別会計繰出金	1,000,000	0	▲ 1,000,000	
3 同窓会会計繰出金	0	1,253,172	1,253,172	(決算処理として同窓会会計に繰出)
4 予 備 費	4,648,000	0	▲ 4,648,000	
合 計	15,148,000	12,324,262	▲ 2,823,738	

[収入済額] 16,236,052円 - [支出済額] 12,324,262円 = 3,911,790円 [次年度へ繰越]

平成25年度 鶴翔同窓会学校支援活動特別会計決算書

自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日
単位：円

1. 収入の部

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減	備 考
1 一般会計繰入金	0	0	0	
2 積立金会計繰入金	1,000,000	0	▲1,000,000	
3 寄 託 金	319,057	682,617	363,560	全日卒業生、同期会より(4件)
4 繰 越 金	744,603	744,603	0	前年度より繰越金
5 雑 収 入	340	158	▲ 182	預金利子等
合 計	2,064,000	1,427,378	▲ 636,622	

2. 支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減	備 考
1 事 務 費	10,000	0	▲ 10,000	
2 激 励 活 動 費	250,000	122,364	▲ 127,636	新会員受験対策支援(仙台)
3 整 備 活 動 費	1,500,000	1,120,148	▲ 379,852	吹奏楽楽器(バスドラム購入)、校歌編曲料
4 助 成 活 動 費	100,000	0	▲ 100,000	
5 予 備 費	204,000	0	▲ 204,000	
合 計	2,064,000	1,242,512	▲ 821,488	

[収入済額] 1,427,378円 - [支出済額] 1,242,512円 = 184,866円 [次年度へ繰越]

【寄託金内訳】

1 平成25年3月卒業(120回)一同様(4/15)	319,057円
2 昭和38年卒業(70回)同期会様(6/14)	213,560円
3 昭和58年卒業(90回)同期会様(8/26)	50,000円
4 昭和48年卒業(80回)同期会様(10/8)	100,000円
計	682,617円

平成26年度 鶴翔同窓会会計予算

自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日
単位：円

1. 収入の部

科 目	予 算 額	前年度予算額	比較増減	備 考
1 会 費	6,150,000	6,650,000	▲ 500,000	
① 入 会 金	1,150,000	1,150,000	0	入会金5,000円×230名
② 維 持 会 費	5,000,000	5,500,000	▲ 500,000	会費3,000円に値上げ(1,670名試算)
2 手 数 料	0	0	0	名簿発行還元金
3 寄 付 金	100,000	3,000,000	▲2,900,000	
4 繰 入 金	0	0	0	
5 繰 越 金	0	0	0	前年度より繰越金
6 雑 収 入	1,000	1,000	0	預金利息等
合 計	6,251,000	9,651,000	▲3,400,000	

2. 支出の部

科 目	予 算 額	前年度予算額	比較増減	備 考
1 運 営 費	1,550,000	1,680,000	▲ 130,000	
① 会 議 費	50,000	50,000	0	事務局・役員会・理事会会議
② 需 用 費	70,000	90,000	▲ 20,000	はがき・切手・事務用品等
③ 事 務 費	650,000	650,000	0	PTA書記給与負担金
④ 旅 費	400,000	500,000	▲ 100,000	支部総会出席旅費等
⑤ 支 払 手 数 料	230,000	270,000	▲ 40,000	維持会費振替手数料
⑥ 慶 弔 費	50,000	—	50,000	電報料等
⑦ 雑 費	100,000	120,000	▲ 20,000	部活動お祝金・諸雑費
2 事 業 費	4,610,000	7,950,000	▲3,390,000	
① 同窓会報印刷発行費	2,750,000	2,800,000	▲ 50,000	印刷費・封筒・発送費等
② 創立記念事業費	800,000	1,000,000	▲ 200,000	案内印刷、看板、講演料、実行委員会会議費他
③ ホームページ運営事業費	230,000	250,000	▲ 20,000	ホームページ運営費
④ 支部総会補助費	130,000	150,000	▲ 20,000	支部総会祝金(庄内5,000円、他10,000円)
⑤ 在学生活動奨励費	250,000	400,000	▲ 150,000	全日150,000円、通信100,000円
⑥ 卒 業 記 念 品	200,000	190,000	10,000	卒業証書ファイル
⑦ 鶴翔会館維持整備費	150,000	160,000	▲ 10,000	鶴翔会館ホール照明ランプ交換
⑧ 事 業 積 立 金	100,000	3,000,000	▲2,900,000	(事業積立金会計へ)
⑨ 特別会計繰出金	0	0	0	
3 予 備 費	91,000	21,000	70,000	
合 計	6,251,000	9,651,000	▲3,400,000	

平成26年度 鶴翔同窓会事業積立金会計予算

自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日
単位：円

1. 収入の部

科 目	予 算 額	前年度予算額	比較増減	備 考
1 積 立 金	100,000	3,000,000	▲ 2,900,000	同窓会会計より繰入
2 繰 越 金	3,911,790	12,147,453	▲ 8,235,663	前年度よりの繰越金
3 雑 収 入	210	547	▲ 337	預金利息
合 計	4,012,000	15,148,000	▲11,136,000	

2. 支出の部

科 目	予 算 額	前年度予算額	比較増減	備 考
1 教育振興事業費	0	9,500,000	▲ 9,500,000	
2 特別会計繰出金	100,000	1,000,000	▲ 900,000	鶴翔会館エアコン特別会計へ
3 同窓会会計繰出金	0	0	0	
4 予 備 費	3,912,000	4,648,000	▲ 736,000	
合 計	4,012,000	15,148,000	▲11,136,000	

平成26年度 鶴翔同窓会学校支援活動特別会計予算

自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日
単位：円

1. 収入の部

科 目	予 算 額	前年度予算額	比較増減	備 考
1 一般会計繰入金	0	0	0	
2 積立金会計繰入金	0	1,000,000	▲1,000,000	
3 寄 託 金	172,617	319,057	▲ 146,440	全日卒業生から
4 繰 越 金	184,866	744,603	▲ 559,737	前年度よりの繰越金
5 雑 収 入	517	340	177	預金利息等
合 計	358,000	2,064,000	▲1,706,000	

2. 支出の部

科 目	予 算 額	前年度予算額	比較増減	備 考
1 事 務 費	10,000	10,000	0	
2 激 励 活 動 費	250,000	250,000	0	新会員受験対策支援(仙台・東京方面)
3 整 備 活 動 費	0	1,500,000	▲1,500,000	
4 助 成 活 動 費	0	100,000	▲ 100,000	
5 予 備 費	98,000	204,000	▲ 106,000	
合 計	358,000	2,064,000	▲1,706,000	

平成26年度 鶴翔同窓会鶴翔会館エアコン特別会計予算〔新規〕

自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日
単位：円

1. 収入の部

科 目	予 算 額	前年度予算額	比較増減	備 考
1 ガス使用料金	200,000	—	200,000	PTA及び第三者からのガス使用料収入
2 積立金会計繰入金	100,000	—	100,000	室外機メンテナンス、設備の修理費の積立
3 繰 越 金	0	—	0	
4 雑 収 入	0	—	0	預金利息等
合 計	300,000	—	300,000	

2. 支出の部

科 目	予 算 額	前年度予算額	比較増減	備 考
1 ガス使用料金	200,000	—	200,000	鶴岡ガス(株)への支払
2 メンテナンス・修理費	0	—	0	当面5年後にメンテナンス費用の支出となる
3 繰 出 金	0	—	0	
4 予 備 費	100,000	—	100,000	
合 計	300,000	—	300,000	

母校創立126周年 7/1(火)

式典及び講演……鶴翔会館
総会及び祝賀会…Gエル・サン



撮影：新田 実氏(91回)
協力：安達文和氏(101回)
真坂栄子氏(101回)



編集後記

今号から、従来の用紙2種類を一本化しましたが如何でしたでしょうか。

今年もまた多くの皆様より貴重な玉稿を賜り、内容も充実したものになりました。

特に今回は、青年海外協力隊の一員としてネパールで活躍中の佐野綾香さんにお願したところ、ご快諾を頂き大変ラッキーでした。余り知ることの出来ない我々にとって海外、特にアフリカやアジアの一部での厳しい教育環境などを知る機会になりました。

また、首都圏におられる皆さんの学習する会を創出して下さる、「鶴翔塾」塾頭の篠崎実様にも深謝いたします。

今年、役員や事務局体制が大幅に変わりましたが、どうぞよろしくお願いたします。

(加賀山捷三)